

[illegible]

栃木県は関東地方の北部に位置している内陸
 県で、面積は6,408km²(全国第20位)、東西84km、
 南北98kmのほぼ楕円形をしている。地形上おお
 むね北西部山岳地帯、八溝山地と平野部の3つの
 地域に分かれる。北西部山岳地帯は足尾山地を含
 む北から那須岳、日光白根山、男体山を主峰とす
 る2,000m級の高い山々が連なり、太平洋側と日
 本海側の分水嶺をなしている。東部の八溝山地は
 標高600～1,000mのなだらかな丘陵地帯をなし、
 茨城県境を南北に伸びている。平野部はこれらの
 山岳地帯に挟まれ南北に開けたほぼ中央の平地
 で、全体に北から南へとなだらかな傾斜をなし関
 東平野へ続いている。

栃木県の気候

気温分布は標高分布にほぼ相似している。また、冬は放射冷却により朝の最低気温が下がるため、12月、1月の平地での日較差は大きくなる。

降水量は北部山地で多い。台風が関東地方に接近した場合や、県の西側を通過する場合は、水蒸気を多く含む空気が山岳部の南東斜面を強制的に上昇させられ、雨雲が発生・発達するため、日降水量が 500mm を超えることもある。

夏は激しい雷雨が多いことが特徴で、春から夏にかけては頻繁にひょう害が発生し、農作物に大きな被害を及ぼすほか、落雷による電力・通信の被害や、強雨による浸水等の被害も多い。

冬は男体おろし、那須おろし等と呼ばれる北西からの季節風が吹き、平地では乾燥した冬晴れの日が多い。冬型の気圧配置が強まると「風花^{かざはな}※」による雪が観測される。また、標高の高い北部山地では雪の日が多くなり、最深積雪が 1m を超えることもある。

※ 晴天時に風に舞うようにちらちらと降る雪

地形データには USGS (アメリカ地質調査所) の
 GTOPO30 を利用した。